



母ちやんのかかと

たか無所
もだんか
で夫頼し
れ丈に本
そ大命五
は懸にか
三よ生日
正く一。も
行とた。金
のの距離も
のの山ど
うほ
いる
とえ
山通
田に
飯校
は学
家農
のの
三丙
正市
たか無所
もだんか
で夫頼し
れ丈に本
そ大命五
は懸にか
三よ生日
正く一。も
行とた。金

ス良を
バのき
は續行
家成校
農学
いが農
無た
のつ人、
入か一
収なた
金ほつ
現でた
、くら
で、ら
気と生
景ほ先
不る。て
はせは
頃出二
のを止
そ代い
父の
戚
も親
は男兄
長の
目る。
が番
だ二
家行
農し
なる
き子
大て
構い
つた
った
大て
構い
つた
った

といり
いな
な来つ
わて履
あつ草
に歸て
間中し
と口を
い一手
なて相
さつお
出行の
をにや
書ひい
願遊じ
るらら
そなか
るも朝
そつ、
ういに
も、の
手伝
う
はに
やな
いん
じこ
てが
しえ
かめ
透お
見、
出や
なく
来つ
履
草
歸て
間中
口を
一手
なて
相
さつ
お
出行
の
をに
や
書ひ
い
願遊
じ
るら
ら
そな
か
た
を
な
なく
に
るも
朝
い
心
い
良
校
や
そつ
、
て
の
し
の
学
ち
うに
に
し
三
珍
は
強
農
父
も、
の
を
正
と
勉
と
。

つればん
帰離ニぎ
がを止ば
んちたお
やうつて
ち。か見
父た無を
、つもれ
だ。度そ
んく一
なしてた。
人悲んっ
一になな
う急事に
もはたう
、三つそ
だ正なき
うに泣
そと人に
ッあ一急
アたては
は「ち
疲上
れが
たっ
けた。
？離れに案内しましよ」と云って立

ち小た
。んだたい
たさま子て
しじでのっ
学お娘な患
通は人んで
でれ一お下
東余はい年
転かんさし
白間や少
で時ちはりた。
ま、つ前よっ
校りみる俺が
学通。来、い
農うたにが愛
、云しこた可
らのをこいで
かんい。て柄
日や伝だつ小
のち手校患り
次父の学とよ

乗せて
の帰るの
からねだる。
学校も
「いつ
にいい
け三に
？」
「学校
がある
と後ろ
に乗
せて
の
帰
る
の
か
ら
ね
だ
る
。

面いの仲
がいの判
妹の評
ならでも
なた。村
ばつは
れわと
けまん
なりや
け走ち
つをっ
を道み
気農
でくて、
の良っ
いてと
悪つにだ。
道日正良

卒業す
るんけ？」
「来年はうちに帰るんけ？」
すぐ過ぎる。
正三も農学校を卒業す
てつん、
「んなや」
「なちん」
「年頃正つ
四る」

なえにちゃんみっちは俺は。となつた。しく悲に。急だ。黙たんとは。つる。人そ。二下と

にちや。うつち。くこつ。よやに。行あ。の話。みさ。えが。かた。が。は。校。ね。用。む。つ。れ。学。ん。し。あ。そ。ん。た。女。な。ぞ。惜。で。り。や。つ。ろ。や。え。を。校。ま。ち。ま。そ。ち。ね。間。学。ん。良。し。ろ。く。ん。時。の。あ。て。そ。な。な。は。日。ん。し。は。し。や。人。毎。ど。き。移。子。強。ち。二。れ。じ。へ。光。勉。つ。え。と。た。け。お。階。ら。行。言。る。い。だ。に。三。か。へ。に。歸。て。り。い。を。止。る。階。ん。ら。し。か。つ。屋。あ。二。さ。か。を。ば。部。い。が。は。ほ。校。し。事。て。の。お。験。ら。お。学。話。の。い。ん。一。試。か。ら

だの時。夕飯と朝飯のは。出来る。のが。話。が。出。来。る。の。は。朝。飯。と。夕。飯。の。時。だ。を。屋。部。の。に。の。や。見。な。ち。を。け。つ。ち。だ。み。つ。る。の。こ。す。階。も。話。ん。？。ら。や。け。か。ち。え。屋。つ。と。話。ね。部。み。ら。て。大。い。き。る。な。松。の。木。が。み。つ。ち。や。ん。の。部。屋。ん。た。や。の。か。び。や。つ。じ。俺。と。た。前。伸。ち。な。い。る。つ。の。へ。み。け。一。時。眺。が。玄。の。

の。達。の。ま。ん。だ。さ。ん。だ。お。じ。の。木。お。つ。の。松。の。云。ん。い。い。な。ん。ち。し。て。え。や。つ。ら。し。見。ち。み。晴。出。ほ。つ。て。素。り。木。み。つ。た。張。の。は。登。し。に。ご。俺。に。出。う。は。て。木。り。よ。ら。ぎ。の。張。の。か。過。松。に。ご。所。か。の。？。め。し。る。日。あ。な。斜。は。い。幾。一。か

「何言ってるんだ、父ちゃん、それ、おれのか
かとたんべな」

「えっ???'」
「おれのが“たわし”なら、とうちゃんのかか
とは“わらじ”たんべ」

以上